

合唱祭・修学旅行そしてJ O

「競わない(賞がない)」合唱に、子どもたちのモチベーションはどうか? 「このコロナ禍で、クラスで合唱をつくりあげることに価値がある。」と先生方や3年生には問いかけてきたのですが、正直子どもたちにとってどうなのかという一抹の不安はありました。合唱祭終了後、大ホール前での生徒たちの様子を拝見していました。作文も読ませてもらいました。私の不安は、解消されました。子どもたちは意義をわかっていました。それ以外にも私たち教員が狙っていた以外の価値(このコロナ禍でできたことを担当の先生に感謝したい等)を見いだしたお子さんもたくさんいました。担任や学年の先生の指導もありましたが、子どもたちはベストな合唱を歌い上げてくれました。

3日後の修学旅行では、笑顔の3年生を見ることができました。天候には恵まれませんでした。が、クラスメイトと外で過ごすこと(楽しさを共有すること)ができていたようです。

ここに至るまで保護者の皆様にはお子さんの健康管理にいつも以上に気を配っていただき誠にありがとうございました。それがあってこそこの行事の成立でした。



19日にはJ Oを予定しています。人数は制限しましたが、チームジャンプも予定しています。二中は、次の目標に向け、「Against コロナ」で頑張っていきます。

親子で話してみてください。

今年度第一回の学校評価の結果をwebページに公開してあります。その中で、私が今年特に気にしている項目は「親子で進路について話している」です。

高校への進学は、ゴールでもありスタートでもあります。お子さんが18歳になったら世の中はどうなっているのでしょうか。AI（人工知能）の発達により今後数十年で今ある職業の半数近くがなくなってしまうという予測があります。下の調査を見ると、子どもたちが将来付きたい職業がわずか10年間で大きく変わってきていて、なおかつIT（情報技術）関連が上位になっていることが、おわかりかと思えます。

2027年には、どのような職業が上位になっているか、近未来を予測することが、難しくなっています。

さらにある調査では、企業が求める人間的な力としては、主体性→実行力→ストレスコントロール力→柔軟性→課題発見力→傾聴力があげられています。様々な調査を見ても学歴は案外上位ではありません。

保護者の皆様の職場では、どのような力が問われているのでしょうか。また、保護者の皆様は、今の職業を選んだ理由、過去の経験や学びの中で今の職業に生きていることは何でしょうか。是非、今回の教育相談や三者面談を機会に親子で話してみたいはいかがでしょうか。

中学生就きたい職業

	男子		女子	
	2007年	2017年	2007年	2017年
1位	野球選手	ITエンジニア	保育士	芸能人
2位	サッカー選手	ゲームクリエイター	芸能人	漫画家
3位	芸能人	You Tuber	パティシエ	医師
4位	教師	プロスポーツ	看護師	公務員
5位	調理師	エンジニア	漫画家	ライター
6位	研究者	公務員	デザイナーなど	保育士
7位	医師	研究者	動物関連	教師
8位	公務員	起業家	美容師	ゲームクリエイター
9位	ゲームクリエイター	教員	教師	You Tuber
10位	コンピュータプログラマー	医師	医師	マスコミ
	大工			

2007 ベネッセ 2017 ソニー生保 資料から

フォトギャラリー



校内放送で行った生徒会本部選挙



3年生の部の最後では全員で校歌を合唱